

クラブ会長・クラブ研修リーダーの責務

活力のあるロータリアンを作るには



SERVE TO CHANGE LIVES

2021-22年度 RID2680

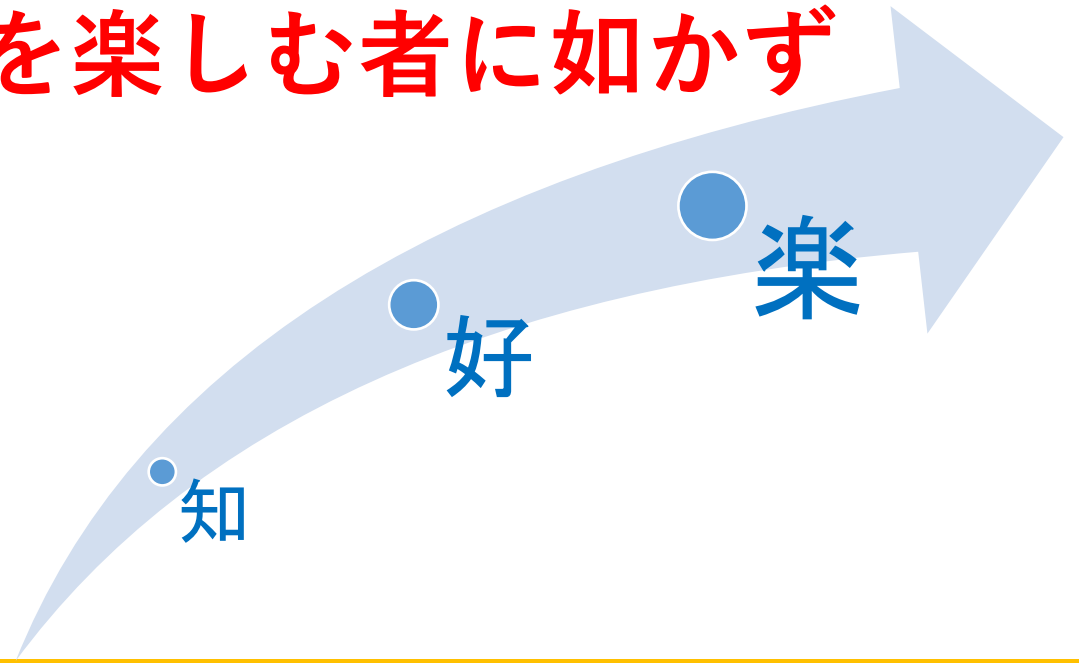
研修リーダー・戦略計画委員長

矢野 宗司(加古川中央)



知 好 楽

これを知る者はこれを好む者に如かず
これを好む者はこれを楽しむ者に如かず



クラブ研修リーダー育成セミナー

・ある退会者の言葉

1年前、人の紹介で入会したロータリークラブを退会した。1年間、例会や地区大会、夜の飲み会等時間の限り参加したが、**親しい人はできなかった。何をやっているかもよくわからなかった。誰に聞いていいかもよくわからなかった。**

ただ世界的規模の団体で年配の人が高尚なおことをおっしゃっていた気がする。以前は社会的地位のある人、高所得者の方々が社会奉仕の理念を掲げての集まりだったようである。今もその意志は立派に引き継がれているが、**今は様々な形(ボランティア・NPO法人等)での社会貢献、地域貢献もあるかと思う。**私にはあわなかった。別の形で地域貢献しようと思い、退会を決意した。**正直、お金もしんどかった。やめるのもどうしたらいいかわからなかった。退会届を出した後も何の連絡もなかった。**

正直寂しかった。やめて良かったとも思った。ロータリーはなんぞや。



クラブ研修リーダー育成セミナー

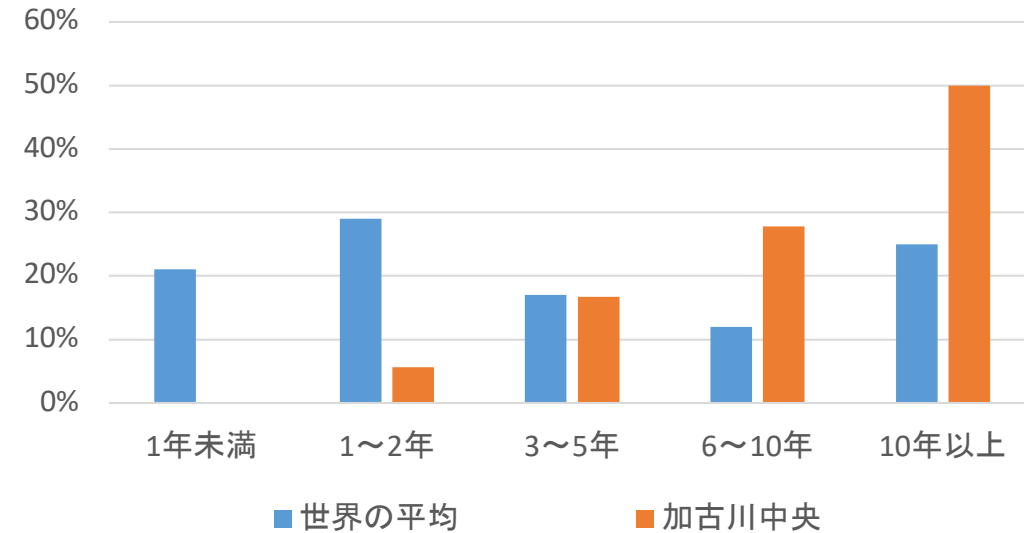
入会2年以下の退会率が約50%

**ロータリーに馴染めず、さびしい思いを抱いたまま
ロータリーを去る人が余りにも多すぎる。**

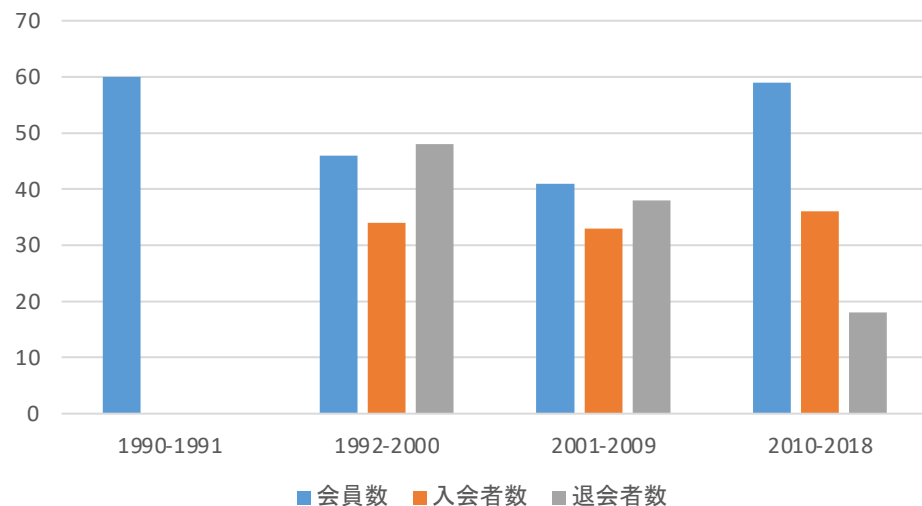
**正面玄関から入った人がすぐに裏口から出てしまう
(ロン・バートン2013-14RI会長)**

**※加古川中央RC 過去12年間で会員増加率が2680地区内トップ
⇒2010年からのクラブの戦略計画**

会員の年数別退会率



加古川中央RC会員数推移



年度	会員数	入会者数	退会者数
1990-1991	60		
1992-2000	46	34	48
2001-2009	41	33	38
2010-2018 ※2010年～	59 5年未満の	36 退会者5名	18 (3名転勤)

クラブ研修リーダー育成セミナー

クラブ研修リーダー

知

入りて学び(Enter to learn)

研修→興味

幹事

好

会長

楽

出でて奉仕せよ(Go forth to serve)

親睦・奉仕・行動→楽しさ

- ・クラブ研修リーダーの責務は、会員への研修を通じて、会員がロータリーを学び、ロータリーにより興味を持つようにすること
- ・会長の責務は、会員がよりロータリーを好きになり、ロータリーを楽しむようにすること

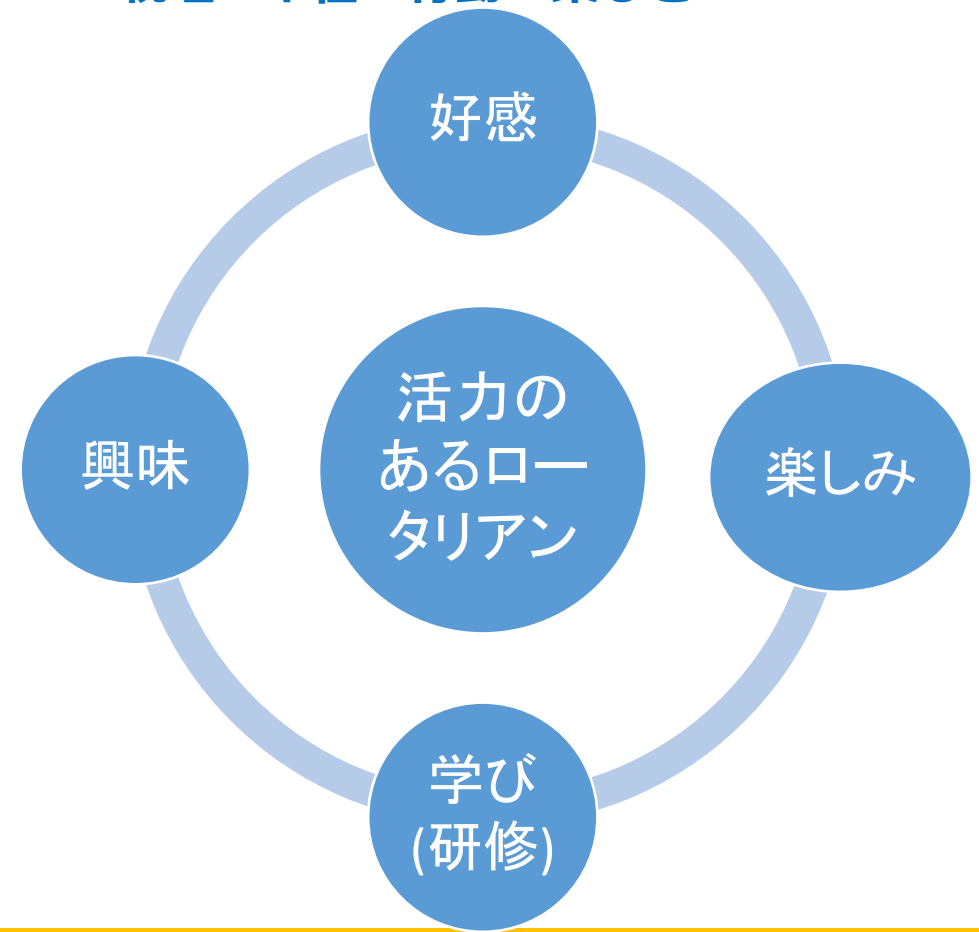
深川2680地区パストガバナー

クラブにとって実質の執行権は幹事にある。

会長は何をするべきか

「会長は例会でアドバルーンを上げて、

皆にやる気を起こさせること」



クラブ研修リーダー育成セミナー

・米山記念奨学

学び⇒興味⇒行動

- とんでもなく集まった寄付⇒ちょっと背中を押してみよう。

2010-11年度 **1人当たり平均寄付額72,239円** (総額3,323,000円 会員数46名 前年度10,976円)

地区 1人当たり平均寄付額2位 神戸六甲RC 32,111円 総額2位 神戸RC 1,910,000円(会員数139名)

- ガバナー月信12月号 米山月間での米山への寄付 42名のうち33名がクラブメンバー
- 以後、ほぼ毎年 米山世話クラブに
- ミャンマーからの米山奨学生⇒2013 -14年度 ミャンマーに小学校を建設
以後も毎年ミャンマーに出向き、継続的な国際奉仕活動
- 2017年6月、釜山での米山奨学生の
結婚式に多くのメンバーと家族が参加



リーダーとは

リーダーとは

- ・「LEAP!」スティーブ・ファーパー著

Love 愛情 Energy エネルギー Audacity 大胆さ Proof 証拠

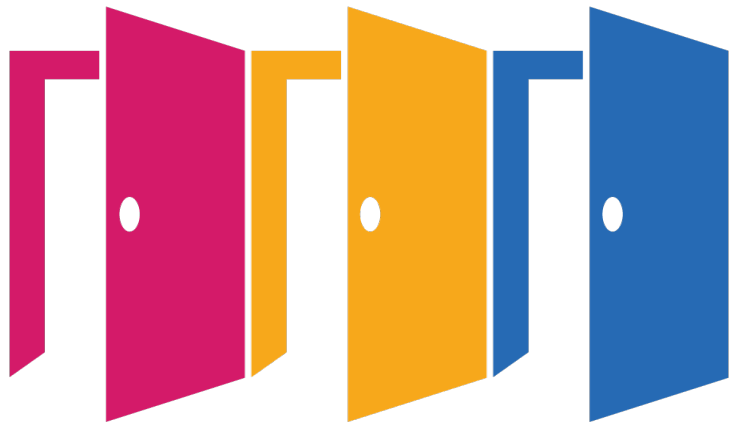
目標を達成する情熱に愛情と思いやりを注ぎ込み、大胆にも前例のない考え方で新しいことに挑み、自分から率先して皆と共に働くことで規範を示してこそ、人々を導くことができ、ロータリアンの意欲を喚起することができる。

- ・ Impossible→I'm possible(文法上は×)



新会員セミナー

**ロータリーを楽しむ第一歩
ロータリーの歴史を知ろう！**



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度 地区社会奉仕委員長
戦略計画委員長

矢野 宗司(加古川中央)

ロータリーの誕生

■ 1905年 シカゴロータリークラブの誕生

- ・ 親睦と物質的相互扶助
- ・ 創立時のシカゴRCの定款

目的 1. 会員の職業上の利益の促進

2. 通常、社交クラブに付随する良き親睦とその他の時に必要と思われる事項の推進

⇒ ・ 1業種1会員制 ・ 定期的な例会の開催

- ・ 1905年 4名からスタート⇒1909年 300名

■ ドナルド・カーター事件→ロータリーの勧誘を断る

- ・ 自分たちの利益だけを追求するエゴイズムの団体には永続性はない。
そのような団体に魅力を感じない。

■ 1906年12月、定款に3つ目の目的が加わる。

- ・ シカゴの最大の利益の推進、及び市民の誇りと忠誠とを市民の間に
広めること ⇒ロータリーにおける奉仕の概念が芽生える。

■ 公衆トイレの設置(1909年、2年の歳月をかけて完成→最初の社会奉仕活動)

- ・ 百貨店組合や酒造組合の反発 ・ 市当局から建設用地と2万ドルの補助金

■ 親睦派と奉仕派の対立→ポール・ハリス 軸足をシカゴRC以外に求める。

→1910年 全米ロータリー連合会の設立



奉仕理念の確立

■ シェルドン

1910年、第1回全米ロータリークラブ連合会年次大会で “He profits most who serves his fellows best” を発表 (後にhis fellowsはなくなる。)

2010年からheはoneに変わり、**One profits most who serves best** (最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる) となる。

⇒職業奉仕の概念



■ コリンズ

1911年、第2回全米ロータリークラブ連合会年次大会で “Service not self” に関するスピーチを行う。後に、**Service above self** に改められる。⇒超我の奉仕

■ 1915年「全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓」を採択

1916年 **ガイ・ガンディガー** 「Talking Knowledge of Rotary (ロータリー通解)」を出版

⇒ロータリーを職業倫理を向上させる運動としての位置づけ

■ アーチ・クランプ

1917年、アトランタ大会で基金の提唱

ロータリーが基金を作り、世界的な規模で慈善、教育、その他の社会奉仕分野で何か良いことをしよう。 **Doing good in the world**



ロータリーの礎が築かれた1910年代

西暦(年度)	ロータリーの動き	会員数	クラブ数	国数
1910	全米ロータリークラブ連合会が誕生	1085	16	1
1912	国際ロータリークラブ連合会に改称 歯車のロータリーマーク制定	5008	44	5
1913	ロータリー年度 7月～6月に決定	10000	74	6
1914	ロータリー旗採用	15000	123	6
1915	標準クラブ定款と模範クラブ細則を採用 クラブ管理の標準化 地区制度・ガバナー制度の制定	20700	167	6
1917	RI大会の6月開催開始	27000	230	8
1919	地区ガバナー国際会議(今日の国際協議会)開催	45000	516	12

日本のロータリーの創設

日本のロータリークラブの創設に向けて

- ・ 1920年1月 ダラス・クラブで日本人として最初のロータリアンとなった**福島喜三次**が、日本に帰国する際に、アルバート・アダムス国際ロータリークラブ連合会会長から年度内に日本でロータリークラブを設立することを条件に、特別代表の任命を受け、**米山梅吉**と共に設立に向けて尽力する。



日本人初のロータリアン
福島喜三次



日本のロータリーの父
米山梅吉

東京ロータリークラブの誕生

- ・ 1920年9月1日 設立準備会
10月20日 チャーターメンバー24名のもと創立総会が開かれる。初代会長 **米山梅吉**

※日本とアメリカのロータリーの創成期の違い

- ・ 日本 既に社会的地位を有する財界人がメンバー
親睦を中心とした社交クラブ
事務局を設け、庶務は事務局員が担当
月1回の例会 度々流会 出席率も悪い 奉仕に積極的でない

	ポール・ハリス	アーチ・クランフ	米山梅吉
生誕	1868年4月19日 ウィスコンシン州 ラシーン	1869年6月6日 ペンシルバニア州 コネチカット	1868年2月4日 東京(江戸)
青年時代	3歳の時に家が没落、祖父母のバーモント州に移り、アイオワ大学卒業後、5年間様々な職に就く。	貧しい家庭に生まれ、幼少の頃オハイオ州クリーブランドに移る。12歳で一家の暮らしを助けるため、学校をやめて仕事に就き、以後夜学に通う。18歳で製材所の採用係の職に就く。	5歳で父が他界し、静岡県に移る。14歳で上京し、東京英和学院(青山学院の前身)に入学、米山家の養子となる。その後、8年間米国で学び、帰国後、勝海舟に師事する。
職業	1896年シカゴで弁護士となり、以後、活動的に業務を行う。	製材所の総支配人となり、その後銀行や汽船会社も経営、実業家として活躍する。	1897年、三井銀行に入社、1909年、常務取締役となる。 現、青山学院初等部を創立、その後、貴族院議員にもなる。
ロータリー歴	1905年、37歳の時にロータリーを設立 1910年、全米ロータリークラブ連合会を設立、初代会長となる。	1911年、42歳でクリーブランドRCチャーターメンバー 1913年、クラブ会長 1914年、国際ロータリークラブ連合会理事、1916-17年度、47歳で同会長	1920年、52歳の時に東京RCを設立 1928年、日本が1つの地区となることが承認され、初代ガバナーとなる。、
死去	1947年1月27日 78歳	1951年6月3日 82歳	1946年4月28日 78歳

日本のロータリーの拡大と転機

日本各地にロータリークラブが誕生

- ・ 1922年 大阪ロータリークラブ

続いて、神戸、名古屋、京都、横浜と主要都市に創設

関東大震災(1923年)の発生と国際ロータリーの支援

- ・ 国際ロータリー(RI)と各国RCから多額の義援金が贈られる。

この義援金をもとに、東京、横浜の小学校への備品の寄贈、東京孤児院(ロータリーの家)を建設する等、様々な奉仕活動を行う。⇒日本のロータリーに大きな影響を及ぼし、改めて奉仕の大切さを理解し、本格的なロータリー活動を推進することにつながり、その運営も一新される。

地区の承認(初代ガバナー 米山梅吉)

- ・ 1928年 朝鮮、満州、樺太、千島、台湾をテリトリーに加え、第70地区としてRIから正式に承認を受ける。⇒7つのクラブしかない地域を地区として承認することには無理があり、日本の強引なやり方にアジア各地のクラブから反発を受ける。
- ・ 1928年～日本のロータリーは着実に拡大していく。

ロータリーの理念と奉仕が確立した1920年代

西暦 (年度)	ロータリーの動き	会員数	クラブ数	国数
1921	エジンバラで国際大会を開催(米国以外で初めて) Service not selfをService above selfに変更	56800	758	16
1922	国際ロータリー(RI)に改称 ロータリーの綱領(目的)の改正(現在の原型) 新しい標準RI定款、細則及びクラブ定款、細則採択。メイクアップ制度を含む出席規定制定 クラブ管理の抜本的改正 イギリスでRIBI地域運営が認められる	70000	975	22
1923	セントルイス大会で 決議23-34採択 ロータリー理念、原則の確立 関東大震災に際しRIと各国RCから多額の見舞金	83150	1234	26
1924	ロータリー徽章の正式規格制定	92800	1494	29
1927	ベルギーのオステンド大会で 四大奉仕部門を承認 四大奉仕への転換 道徳律頒布中止	120000	2396	41
1928	ロータリー財団設立 財団活動の確立 日本が一つの地区に制定される	129000	2628	45

決議23－34(社会奉仕に関する1923年の声明)



エドガーアレン 国際身体障害児童協会

■ 1923年、セントルイス大会で決議23-34を採択

ロータリー理念、原則の確立⇔理論派と実践派の対立の回避

- ・ 理論派 奉仕の心を形成することがロータリー運動の本質→個人奉仕
- ・ 実践派 奉仕活動の実践こそがロータリーの使命→団体奉仕

- ・ ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務 及びこれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである。
この哲学は奉仕―「超我の奉仕」―の哲学であり「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践理論の原則に基づくものである。
- ・ 奉仕する者は行動しなければならない。ロータリーとは単なる心構えのことを言うのではなく、また、ロータリーの哲学も単に主観的なものであってはならず、それを客観的な行動に移さなければならない。
- ・ ロータリアン個人もロータリークラブも、奉仕の理論を実践に移さなければならない。

4大奉仕の採択

■ 1927年、ベルギーのオステンド国際大会

「目標設定計画」を採択し、それまでの包括的な奉仕概念が、
3つの奉仕部門、すなわち

クラブ奉仕 (Club Service)

職業奉仕 (Vocational Service)

社会奉仕 (Community Service) に分けられ、さらに翌年、

国際奉仕 (International Service) が追加され、ここから

ロータリーは4つの分野に細分化されて、進められることになる。

現在は青少年奉仕も含めて5大奉仕となる。

根に当たるのが、親睦一クラブ奉仕、ロータリーの理念を吸収して、幹を太らせる。

幹に当たるのが職業奉仕。ロータリーの根幹となる。

枝や葉に当たるのが、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕(新世代奉仕)

花に当たるのがロータリー財団。そして、それらが多くの実を結ぶ。



ロータリー財団の設立

■ 1917年 アーチ・クランプ基金の設立

- ・ ロータリアンの多くは無関心、ロータリー運動に金銭的奉仕を持ち込むことに反発
次年度の大会のホストクラブとなるカンザスシティRCが26ドル50セントを拠出してスタート
- ・ 6年を経過しても基金の残高は700ドル程度

■ 1928年 ミネアポリス大会でロータリー財団に 初代管理委員長 アーチ・クランプ

「我々はこの財団を何世代もの尺度で見つめるべきだ。なぜならロータリーは幾世代にも亘る運動だから。」 Rotary is a movement for centuries

■ 1929年～ 株価暴落による経済恐慌で奉仕活動も停滞

ロータリアンも1933年度から1934年度まで減少

■ 1930年 最初のロータリー財団の活動として、エドガー・アレンの推進する国際身体障害児童協会に500ドルの補助金

※「金銭的奉仕はロータリーの第一義ではない」という考え方から、
長らくロータリー財団の活動は停滞 ⇒ポール・ハリス の死去が転機に



ロータリー活動の停滞が余儀なくされた1930年代～40年代前半

西暦 (年度)	ロータリーの動き	会員数	クラブ数	国数
1932	ハーバート・テラー「四つのテスト」創案	155000	3514	75
1934	規定審議会発足	150000	3692	76
1935	現在のロータリーの綱領(目的)がほぼ完成 目的の明確化	162406	3842	78
1936	ドイツでクラブ解散 翌年イタリア・オーストリアで解散	170000	4004	81
1942	RI第13地区の大会が21か国政府を代表する関係者をロンドンに招待して教育文化交流について協議する会議を開催、後にユネスコとして成立	208363	5069	70
1943	RI理事会は「四つのテスト」を正式に採用	209689	5174	69
1945	49人のロータリアンが国連憲章起草に参加	247212	5441	65

日本のロータリーの独自性の推進とRI脱退

軍部や官憲からの圧力が強まる

1931年 満州事変 1933年 国際連盟脱退による日本の孤立化

1934年 ロータリー用語に外国語を廃止し、例会様式を日本式に変え、ロータリー標語をわかりやすい日本語に変えることが、神戸クラブから提案される。

1935年 例会に日の丸・君が代導入(京都RC)

⇒本部をアメリカに持つロータリーへの弾圧

英語のロータリーソングに対して、

「奉仕の理想」作詞 前田和一郎(元京都RC)

「我らの生業」作詞 高野辰之 作曲 岡野貞一 が誕生

ポール・ハリス夫妻来日

1936年 神戸での地区大会で「**大連宣言**」を採択

1939年 朝鮮、台湾、満州を含む3地区に分割 日満ロータリー連合会を結成

1940年 **RIを脱退**(脱退時43クラブ 会員数2142名)



日本のロータリーのRIへの復帰

1

脱退後の活動の継続

組織として日本のロータリーは壊滅するも、名称を「東京水曜クラブ」「神戸木曜会」等と変え、隠れキリシタンの如く、ひそかに活動を継続

⇒ロータリーの奉仕の理念がロータリアンの心深くに根付いていた

1946年 米山梅吉・福島喜三次逝去

1949年 東京RCがRI復帰、続いて他のクラブも順次復帰
(第60地区13RC)



東京RC RI復帰認証式 吉田茂首相も出席

ロータリー財団、国際奉仕、青少年奉仕が注目されてきた 1940年代後半～60年代

西暦 (年度)	ロータリーの動き	会員数	クラブ数	国数
1947	ポール・ハリス逝去	279881	5828	78
1949	一都市一RC制を完全廃止 日本のRCがRIに復帰する(13RC)	329342	6834	82
1950	二つの標語(He profits most who serves best. Service above self)を公式採用	341716	7113	83
1956	RYLAがオーストラリアで発足 (1971年正式採用)	433798	9140	99
1962	最初のインターアクトクラブ 世界社会奉仕プログラム(WCS)の導入 国際奉仕活動の本格化	528297	11309	128
1966	研究グループ交換(GSE)発足	599945	12460	133
1968	東ヶ崎 潔RI会長に就任 ローターアクト計画発表	639140	13324	143

RI・ロータリー財団が主導となる 1970年代～1990年代

西暦 (年度)	ロータリーの動き	会員数	クラブ数	国数
1974	青少年交換プログラム始まる	761074	16087	151
1978	保健・飢餓追放・人間尊重(3H)プログラム発表 RI主導型奉仕活動	813704	17364	152
1985	ポリオ・プラス計画発表 ポリオ撲滅運動の推進 奉仕活動 単年度制から継続性に	991047	21669	159
1989	女性ロータリアンを認める 「ロータリアンの職業宣言」採択	1091056	24419	167
1991	「国際ロータリーの使命」発表 団体奉仕活動の提唱	1143333	25583	172
1992	「社会奉仕に関する声明」採択 社会奉仕基準の改正	1155810	25928	184
1995	規定審議会でポリオ撲滅がロータリーの第一目標であると決定	1170936	27446	186

ロータリー財団の発展

■ 1946年 ポール・ハリスの遺言

- ・ 葬儀の献花に代えて、そのお金を国際理解推進のために財団に送ってほしい。

ロータリー運動は善意を生産する母体である。その善意の普及を通じて、戦争勃発を予防することは私の念願だったが、その願望は遂げられないままに第二次大戦が起こり、悲惨な形で終わった。今度、大戦が起こったら、地球は壊滅するだろう。だから第三次世界大戦は何としても、ロータリーの善意の提唱を通じて予防しなければならない。

■ 1947年 ポールハリス記念基金設置⇒翌年7月までに130万ドル以上の寄付

→ロータリー財団の基金となり、にわかにロータリー財団が脚光を浴びる。

最初の財団プログラム 高等研究奨学金⇒国際親善奨学金 3万人を越える奨学生

→世界理解と平和のための人為的・教育的プログラムの開発



緒方貞子 元国連難民高等弁務官



中満泉 国連事務次長



久木田純 元UNICEFカザフスタン事務所長

ロータリーの精神である、『Service above Self 超我の奉仕』という言葉は、私の心に深く浸透し、いまに至るまで、私を導いていると感じます。

ポリオ根絶への取り組みで世界銀行総裁賞受賞

ロータリー財団の発展

国際奉仕を中心としたロータリー財団活動

- 1962年 世界社会奉仕プログラム(WCS)の導入→国際奉仕活動の本格化
- 1965年 ・マッチング・グラント(国際的な人道的プロジェクト)
クラブと地区のプロジェクトに補助金を提供する財団初のプログラム
・ GSEプログラム(研究グループ交換)
職業と技術研修のための双方向プログラム
- 1978年 3H補助金プログラム Health,Hunger,Humanity
→個人奉仕から一歩抜け出す



フィリピンでの3H活動

■ 1985年 ポリオプラス→単年度制から継続性に



1995年 規定審議会でポリオ撲滅が第一目標であると決定



■ 2002年 平和フェローシップ

ロータリー平和センターで1,300人以上のフェローを輩出



日本のロータリーの発展・拡大

- 1952年 2地区に分割
- 1953年 東京RCが米山記念奨学金制度実施
「ロータリーの友」創刊、神戸の地区大会で「手に手つないで」唱和
日本の高度経済成長と1都市1RC制の完全廃止により、クラブが拡大する
- 1961年 8地区に分割、アジアで初の国際大会が東京で開催
- 1964年 東京オリンピックの聖火台寄贈
- 1968年 14地区に分割、日本人初のRI会長に東ヶ崎潔氏
- 1982年 26地区に分割、RI会長に向笠廣次氏
- 1986年 日本のロータリアンが10万人突破
(世界のロータリアン 100万人突破)
- 1989年 第2500地区清水RCに最初の女性会員
- 1994年 34地区に分割
- 1997年 日本の会員数のピーク 131,731人
- 2004年 大阪で国際大会
- 2012年 RI会長に田中作次氏



東ヶ崎潔氏



向笠廣次氏



田中作次氏

柔軟性、多様性のもと大きく変化していく2000年代～現在

西暦 (年度)	ロータリーの動き	会員数	クラブ数	国数
2001	1業種1会員制変更 メーカーアップ規定の変更	1188492	30149	197
2002	地区リーダーシッププラン(DLP)実施 ロータリー第2世紀への体制強化	1243431	31256	200 以上
2010	新世代奉仕(青少年奉仕)が加わり5大奉仕となる Eクラブ承認 RIの新長期計画発表	1223413	34301	200 以上
2013	ロータリー財団新補助金プログラム「未来の夢計画」実施 財団活動の大幅な改革 会員資格の緩和 衛星クラブの承認	1207182	34823	200 以上
2016	規定審議会で例会の回数(最低月2回)等、ロータリークラブの運営に 大幅な柔軟性が採択	1207913	35399	200 以上
2017	新しいビジョン声明 2018 新戦略計画	1232382	35617	200 以上
2019	メーカーアップ制度の緩和 ローターアクトをRIの一員にすることを承認 「ロータリーの多様性、公平さ、開放性に関する方針声明」承認	1213465	36246	200 以上

国際ロータリー(RI)はどこへ向かっているのか

■ 2010年 戦略計画

今日の世界は1905年の世界と同じではありません。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生み出されています。不変なのはロータリーを定義づける下記の価値観に対するニーズです。

- ・ 5つの中核的価値観 親睦(Fellowship)・高潔性(Integrity)・多様性(Diversity)
奉仕(Service)・リーダーシップ(Leadership)

□ 基本になる考え(2015年10月の理事会決定事項)

ロータリーは時代に追いついていかなければならない

ロータリーは時代に適応しなければならぬ

ロータリーは将来への備えができていなければならない

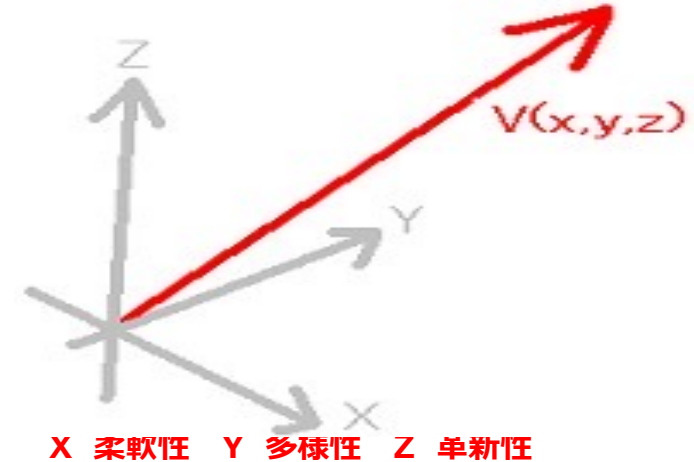
□ 基本になるキーワード

柔軟性・多様性・革新性(DFI・Diversity・Flexibility・Innovation)

多様性・公平さ・開放性(DEI・Diversity・Equity・Inclusion)

⇔ 日本のロータリー 硬直性・画一性・保守性

- ・ 例会の柔軟性→例会から奉仕プロジェクトの実践を重視
- ・ 会員基盤の多様性→職業人に限らず、より多様なリーダーによる会員構成
- ・ ロータリーの革新性→新たなタイプのクラブや様々な改革



equality(平等)とequity(公平)の違い

国際ロータリーの変化

年代	会員基盤の多様性	例会の柔軟性	クラブの多様性
1981年～1990年 1986年 世界のロータ リアン100万人、 日本10万人を突破	1987年 米国連邦最高裁判所 性別を理由 に女性を会員として拒否すること はできないという判決 1989年 女性の入会を認める	1989年 ロータリー年度に2回まで取りやめ ることができる	
1991年～2000年		1995年 メークアップ期間の延長 (例会の前 後2週間) 1998年 クラブ理事会承認の奉仕プロジェク トへの出席をメークアップと認める	
2001年～2010年 2003年 会員数ピーク 1,243,431人	2001年 1業種1会員制変更 同一職業分類5名以内、51名以上 のクラブは10%まで クラブが性別を一つに限定すること を禁止する 2007年 会員資格の変更 (財団学友・ボラ ンティアリーダーの入会を認める)	2001年 ロータリー年度に4回まで取りやめ ることができる メークアップの大幅 拡大 2004年 相互参加型のウェブ会合に30分参 加した場合には例会出席と認める	2004年 クラブの合併を認める 2010年 Eクラブ承認(1地区2つまで)
2011年～2020年	2013年 仕事を持たない人も正会員となる ことを認める 2016年 会員身分の条件を簡素化 ローター アクターとロータリー学友に会員と なる資格を与える 2017年 539名中、103名の女性ガバナー	2013年 クラブの奉仕活動参加を出席要件 に含む 2016年 例会の大幅な柔軟性が認められる 2019年 メークアップ期間の大幅な変更	2013年 衛星クラブを認める Eクラブの制限数をなくす 2016年 クラブ入会金規定を削除

国際ロータリーの変化

年代	ロータリーの改革	その他のできごと	2680地区のできごと
1981年～1990年	1987年 長期計画委員会 (後の戦略計画委員会)	1985年 「ポリオ・プラス計画」を発表 ポリオ撲滅運動の推進 RI主導型奉仕活動 単年度制から継続性へ 1987年 職業奉仕に関する声明発表 職業奉仕概念の変更 1989年 「Service above self 超我の奉仕」の標語を ロータリーの第一モットーと定める	(1970年) 兵庫県単独で1つの地区に 1987年 地区大会で「第268地区ロータ リー職業訓」を決議 1988年 上郡プロバスクラブ結成
1991年～2000年	1992年 会長エレクトがPETSと地 区協議会に出席するこ とを義務とする	1991年 「国際ロータリーの使命」発表 団体奉仕活動の提唱 1992年 社会奉仕に関する声明 社会奉仕基準の改正 1998年 規定審議会をRIの唯一の立法機関とする	1995年 阪神・淡路大震災のため地区 大会中止 1998年 地区内13分区(グループ)に 2000年 姫路中央 世界初の冠名奨学 金設立(25万ドルの寄付) 尼崎中RC設立
2001年～2010年	2002年 DLPの採用 2004年 CLPの推奨	2010年 新世代奉仕(青少年奉仕)が加わり5大奉仕 となる 戦略計画 「中核となる価値観」発表	
2011年～2020年	2013年 「未来の夢計画」スタート 2016年 規定審議会での大幅な 改革	2011年 「ロータリアンの職業宣言を「ロータリーの 行動規範」に 改正 2013年 地区協議会を地区研修・協議会に修正 2014年 「ロータリーの友」電子版発行 地域雑誌の 電子化 2015年 ロータリー特別月間を大幅変更 2017年 新しいビジョン声明 2018年 新戦略計画	2013年 淡路北脱会 2014年 HYOGOロータリーEクラブ設立 浜坂脱会 2016年 西宮イブニング・ 神戸モーニン グ設立・神戸ハーバー 脱会 2017年 神戸有馬脱会 2019年 神戸西・神戸北合併 明石西・明石南合併

RIと日本のロータリーの考え方の違い

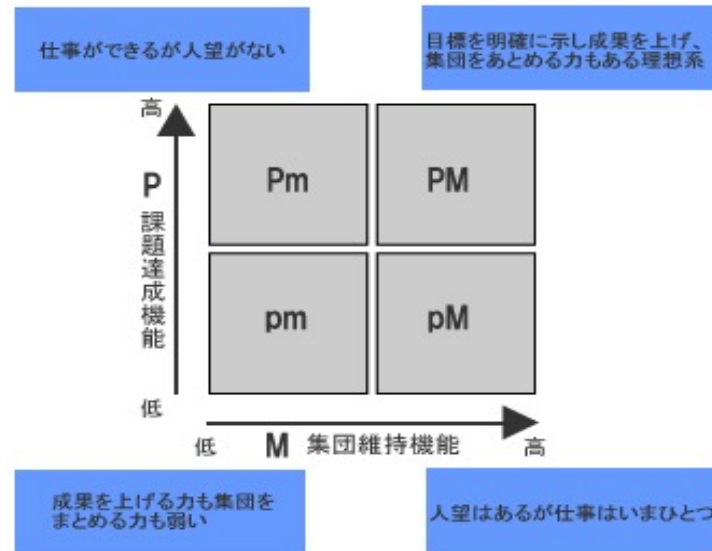
	RIの考え方	日本の伝統的な考え方
活動の中心	奉仕プロジェクトの実践	例会
会員基盤	多様なリーダー	職業人
職業奉仕の位置づけ	プロジェクトの一つ	職業理念・倫理の重視
奉仕の主体	団体奉仕	個人奉仕

- ・ 2010年RI理事会「ロータリーは例会を重視する文化から参加を重視する文化へと変換を図らなければならない。」 スチュアート・ヒルRI理事(長期計画委員長)
- ・ 日本の価値観に固執するだけでは孤立の道に進む。石黒慶一元RI理事(鶴岡西RC)
閉鎖性・ロータリーへの固定観念
- ・ 「or」ではなく「and」の発想→創造性 渋沢栄一 「論語と算盤」(1916年)
俯瞰力 (Bird's-eye view)

リーダーシップ

リーダーシップ

人を惹きつけ大勢を抱え入れ、志を持って大事をやってのける能力



山本五十六の言葉

やってみせ 言って聞かせて させてみて 褒めてやらねば 人は動かじ
話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば 人は育たず
やっている姿を感謝で見守って 信頼せねば 人は実らず